

[2. 抄録様式]

公益財団法人 8020 推進財団 令和 6 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録	
1. 事業名：	人間ドックにおける歯周病唾液検査導入の取り組みについて
2. 申請者名：	一般社団法人 西宮市歯科医師会 会長 中坪 信也
3. 実施組織：	一般社団法人 西宮市歯科医師会 一般社団法人 西宮市医師会
4. 事業の概要	歯周病は歯周組織の破壊にとどまらず脳血管疾患、動脈硬化、糖尿病などの発病及び憎悪因子として注目されている。このため、人間ドックにおいても歯周病の検出を見過ごすことはできなくなっている。そこで歯周病の検出に歯科医師・歯科衛生士を必要とせずスクリーニングして、歯科医院への受診を勧奨する仕組みを構築した。現在は糖尿病重症化予防事業として医科との連携に重みをおいているが、唾液中の検査物質（例えば CRP）を増やすことによりアルツハイマー型認知症のスクリーニングなども今後検討を加えていく予定である。
5. 事業の内容：	2023 年 1 月から約 3 週間、西宮市内の当事業協力歯科医院に受診し唾液検査の協力が得られた 21 歳から 91 歳の 108 名（男性 32 名、女性 76 名）を対象として唾液中のヘモグロビン（Hb）量、乳酸脱水素酵素（LD）からスクリーニング検査としての感度・特異度を求めた。（一社 兵庫県医師会倫理審査委員会 承認番号 R4—004）その後問診で回収した歯周状況チェック（8020 推進財団）より各項目に重みづけを行い点数化し、これらの組み合わせをもって感度、特異度ともに精度を高めた条件を確立して西宮市医師会診療所人間ドックにて一般市民向けオプション健診として実施している。 2024 年 6 月より西宮市国民健康保険加入者の特定健診を実施している一部の医療機関において、歯周病唾液検査のパイロット健診を行った。2025 年度に向けて、西宮市国民健康保険加入者の特定健診に導入するよう市行政側との折衝活動を行ったが、実施の回答は得ていない。さらなるデータを収集するため、2025 年 1 月から 3 月にかけて、市内 15 箇所の歯科医院で 128 名に歯周病唾液検査を行った。2025 年 3 月には医師会と共催で学術講演会を開催し、歯科医師、医師、看護師の計 44 名が参加し、「歯周病と全身疾患との関係」について相互の取り組みの重要性を再認識した。
6. 実施後の評価（今後の課題）：	歯周病唾液検査を行っていく中で、医科から歯科へのスムーズな受診の流れや受診の重要性の認知不足など、解決すべき課題も見つかっており、担当委員会や医科歯科連携会議で連携ツールの開発や連携手帳の整備など対応策の課題が見えてきた。また、全国への研究会に参加し知識を広げると共に、事業について広く周知し、研修会の開催などでより多くの関係者に、その効果を理解していただく機会を設ける必要がある。対象者を広げるため、引き続き、西宮市国民健康保険加入者の特定健診に正式に導入し予算措置を図るよう市行政側へ医師会、歯科医師会双方から折衝活動を行っていく。